

第9回日本セレン研究会 開催のご案内と参加のお願い

セレンは、生体内において高度に制御された形で機能する特異な元素であり、そのレドックス特性や元素特有の化学的柔軟性に基づいて、多様な生理機能の発現に関与しています。近年では、セレン含有分子の動態や代謝ネットワークの理解が進むとともに、酸化ストレス応答、免疫制御、疾患発症機構との関係が分子レベルで精緻に解析されつつあります。さらに、化学の立場からは、セレンを活用した精密分子設計や反応開発が進展し、生体機能の制御や可視化、さらには創薬・材料応用への展開が加速しています。

近年の関連分野の動向としては、2025 年に韓国で開催された国際セレン学会（ISSBM 13）に続き、ISSBM 13 の Satellite meeting と第8回日本セレン研究会の joint meeting が開催され、国内外の研究者が集結し、セレン科学の最前線に関する活発な議論が行われました。これらの国際的交流を通じて、セレン研究は分野横断的かつグローバルな広がりを一層強めています。

このような背景のもと、「第9回日本セレン研究会」を九州大学（九州大学大学院農学研究院共催）にて開催する運びとなりました。本研究会は、生化学、医学、薬学、有機化学、環境科学など多様な分野の研究者が一堂に会し、最新の研究成果を共有するとともに、分野横断的な議論を通じて新たな研究の方向性を創出することを目的としています。セレンという共通基盤のもとに異なる専門領域が交差することで、新たな学術的価値や共同研究の萌芽が生まれることが、本研究会の大きな特色です。

また、今回本研究会では、坂本 峰至 先生（国立水俣病総合研究センター）および 赤池 孝章 先生（東北大学大学院医学系研究科）をお招きし、ご講演をいただく予定です。

加えて、本研究会は次代を担う若手研究者・学生の育成にも重点を置いています。ポスター発表や自由な討論の機会を充実させることで、分野を越えた交流を促進し、研究を俯瞰的に捉える力と学際的思考の醸成を目指します。

前回の国際会議を契機としてセレン研究に関心を持たれた方々や、新たに本分野に参入された研究者・学生の皆様にも、ぜひ積極的にご参加いただきたく存じます。年度内のご多忙の時期とは存じますが、多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。あわせて、関連分野の研究者の皆様にも広くお声がけいただけますと幸いです。

第9回日本セレン研究会 世話人代表

有澤 美枝子

九州大学農学研究院

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 ウエスト 5 号館

電話：092-802-4719

E-mail: se2026@agr.kyushu-u.ac.jp

(参考) 過去の日本セレン研究会

- 第1回 北里大学(東京) 幹事: 中川 靖一 先生
- 第2回 京都大学(京都) 幹事: 江崎 信芳 先生
- 第3回 北里大学(東京) 幹事: 今井 浩孝 先生
- 第4回 立命館大学(滋賀) 幹事: 三原 久明 先生
- 第5回 東海大学(東京) 幹事: 岩岡 道夫 先生
- 第6回 千葉大学(オンライン) 幹事: 小椋 康光 先生
- 第7回 東京工業大学(東京) 幹事: 後藤 敬 先生
- 第8回 東北大学(宮城) 幹事: 齋藤 芳郎 先生

第9回日本セレン研究会 開催案内・参加募集要項

開催日時 2026年8月24日(月)～25日(火)
第1日目(8月24日) 13:00開始 *夕方から懇親会を予定しています。
第2日目(8月25日) 午前中で終了予定(演題数により変更になる場合があります)。

会場 九州大学 伊都キャンパス 大講義室 232 教室 中講義室 220 教室
〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 ウェスト5号館
(会場へのアクセス)
地下鉄空港線/JR「九大学研都市駅」から昭和バスにて「九大農学部」下車
福岡空港または博多駅から約 50 分

伊都キャンパスへのアクセス法：<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>

伊都キャンパスマップ：https://www.kyushu-u.ac.jp/f/65722/ITO_1_Jp.pdf

(地図上32の建物)

参加費 一般 参加費 3,000 円 懇親会費 5,000-6,000 円程度
学生 参加費 無料 懇親会費 1,000-2,000 円程度
(当日会場受付にてお支払いください。領収書をお渡しします。)

発表形式 ・口頭発表：15分(発表10分、質疑応答5分)の予定。
※演題数により多少増減する可能性があります。
・ポスター発表：第1日に実施予定

参加・発表申込

- ・申込締切：2026年7月27日(月)
- ・次ページの参加申込フォームにご記入の上、事務局宛に e-mail にてお送りください。
送付先は、se2026@agr.kyushu-u.ac.jp です。
- ・発表申込は「要旨作成要領」に従って作成した要旨原稿ファイル (Word) を添付してください。

宿泊等 宿泊の必要な方は各自で手配していただきますようお願いいたします。

問合せ先

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学農学研究院 ウェスト5号館(会場)
世話人 有澤 美枝子(九州大学), 吉田 さくら(北九州市立大学)
E-mail: se2026@agr.kyushu-u.ac.jp Tel: 092-802-4719

第9回日本セレン研究会 参加申込みフォーム

ご氏名： (フリガナ：)

ご所属：

役職（学生の場合、学年）：

連絡先

住所：〒

電話：

メールアドレス：

発表の有無 ☐有 (☐口頭 ・ ☐ポスター ・ ☐どちらでも可) ☐無

懇親会参加 ☐有 ☐無

申込締切:2026 年 7 月 27 日 (月)

要旨作成要領

1. 要旨サイズは、A4 版 1/2 ページで、余白は上下 25mm、左右 20mm とする。
2. 演題名は、MS 明朝体 12 ポイントボールドで記載する。
3. 演題名以下の文章は MS 明朝体 10.5 ポイントで記載する。
4. 演題名・氏名・所属（略称名）、本文の順に記載する。
5. 演題名・氏名・所属（略称名）はそれぞれ単独の行に書き、センタリングする。
6. 所属と本文の間は 1 行空ける。
7. 発表者の前に○を付ける。共同発表者が複数研究期間にまたがる場合は氏名の右上に番号を付けて区別する。
8. 本文は 14 行程度が目安です。
9. ファイル名は、「発表種別_発表者氏名.docx」としてください。
(例：口頭_伊都花子.docx, ポスター_福岡太郎.docx)

(作成例)

新奇セレンタンパク質の同定

○伊都花子¹、福岡太郎²

¹学研大・理・化、²伊都大・院農・生化

(本文は一行空ける)

1 【目的】セレンは . . .

2

3

4 【方法】セレンの定量は . . .

5

6

7

8 【結果】精製タンパク質の質量分析結果より . . .

9

10

11

12 【考察】以上の結果より . . .

13

14